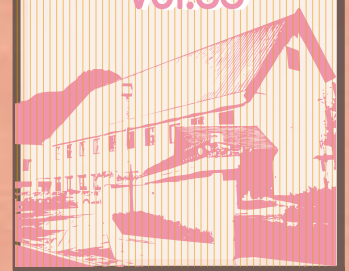




# いにしへの讃岐 vol.83



## 発掘現場から

### 西村遺跡 (東かがわ市西村)

#### 『有力層の邸宅跡?』

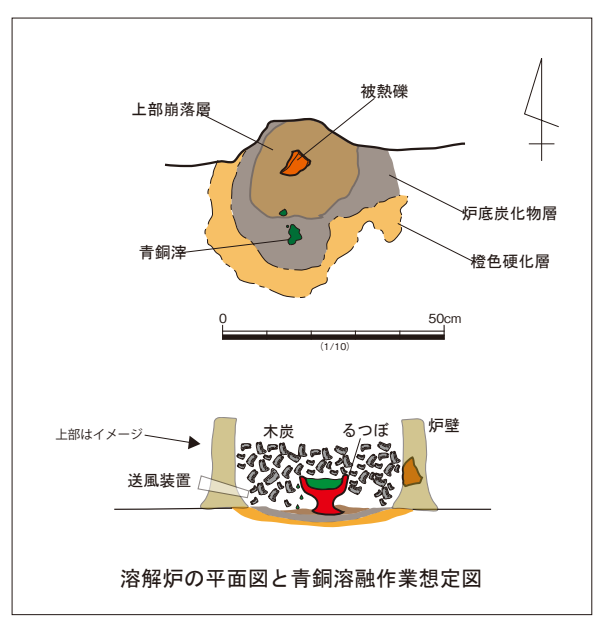


大型掘立柱建物の身舎部分 (人が入っている柱穴)  
奥の柱列の1間向こう側に庇の柱列が並びます。また、手前右2か所の柱穴は後の時代に削られて無くなっています。

西村遺跡は国道11号大内白鳥バイパス建設に伴って平成25年度から発掘調査を行っている遺跡です。昨年度の調査では弥生時代中期初頭の溝・古墳時代中期の大溝1条、竪穴建物1棟などが見つかりました。今年度は主に平安時代終わり頃(約1,000年前)と、弥生時代前期末頃(約2,300年前)の遺構・遺物が見つかりました。

平安時代の遺構は、掘立柱建物3棟以上、溝8条、土坑1基があり、他に特筆するものとして鉄の鍛冶炉4基、銅の溶解炉1基が見つかりました。掘立柱建物は、周辺の大内平野で確認できる条里型地割に合い、規模は最も大きい建物で梁行2間、桁行5間(5m×11.3m、床面積56.5㎡)の身舎に1間の庇がつく建物(7m×11.3m、総面積79.1㎡)に復元できます。県内では床面積40㎡を超える大型の建物とされており、この建物も大型と言えます。建物の時期は、柱穴から出土した遺物により概ね平安時代終わり頃と考えられます。その他、建物を取りまく溝が見つかりました。

鍛冶炉や溶解炉は、いずれも最終操業の後に上部の構造物が削られています。炉の底部付近が良好に残っています。鍛冶炉は鉄素材を用いて鍛造した鉄製品を加工する作業を行う施設です。遺存状態が



溶解炉の平面図と青銅溶融作業想定図

出土遺物は、一般集落でも出土する須恵器・土師器・黒色土器といったもののほかに、瓦、硯、東海地方で焼かれた土器である灰釉陶器といった一般集落からはあまり出土しないものが見つかっています。金属製品の中には古代の役人が使う帯の飾り金具も見つかりました。その他に、漁網に使う土製の錘が多数出土しています。

これらの遺構・遺物から、西村遺跡の集落は古代の一般集落とは一線を画すものと考えられます。鍛冶・鑄造に関わる遺構は、ここで周辺地域の農具などの生産や補修を行っていたことをうかがわせます。また、多量に出土した土錘からは漁網が一括管理されていたことが想像できます。そして、硯や帯金具を有し、官道である南海道を介して郡衙などの連絡調整を行い、遠隔地から搬入されるよう



な灰釉陶器など物資流通の管理も担っていた人物が存在したのでしょうか。以上の点から、西村遺跡の集落は地域内の公的な役割をもつ有力層の活動拠点であった可能性が考えられます。

## 平成26年度四国地区 埋蔵文化財センター巡回展

四国の埋蔵文化財センター5団体が共同で展示を行う「続・発掘へんろー四国の近世」が始まりました。今年度は江戸時代を取り上げ、各県の代表的な城郭や県内を流通した陶磁器、遊び道具や化粧道具、当時の人々の食生活を示す遺物を紹介しています。城郭の梁を飾った藩主の家紋入り瓦のほか、はるばるオランダから来た水指や色鮮やかな大皿、ミニチュアのままで道具や人形など、江戸時代ならではの遺物を数多く展示しています。この機会に四国4県それぞれ



## 展示・イベントのお知らせ

【展示】巡回展 『第6回続・発掘へんろー』  
一四国の近世  
日時：平成26年9月16日(火) ~ 12月12日(金)  
※土・日・祝日は休館  
場所：香川県埋蔵文化財センター第1展示室  
観覧料：無料

◆テーマ展 『香川の城郭』  
日時：平成26年9月5日(金) ~ 12月19日(金)  
※土・日・祝日は休館  
場所：香川県埋蔵文化財センター第2展示室  
観覧料：無料



## 【イベント】

◆第3回香川県埋蔵文化財センター考古学講座 『高松藩のやきもの 理兵衛焼』  
講師：森下友子

日時：平成26年10月11日(土)10時~12時  
場所：香川県埋蔵文化財センター講習室  
定員：30名程度(申し込み先着順)  
聴講料：無料  
申込方法：電話・メールでお申し込みください  
電話：0877-48-2191  
メール：maibun@pref.kagawa.lg.jp  
※メールの場合はお名前・連絡先をご記入ください。



発行：2014年9月  
香川県埋蔵文化財センター  
〒762-0024  
香川県坂出市府中町字南谷 5001-4  
tel: 0877-48-2191 / fax: 0877-48-3249  
E-mail: maibun@pref.kagawa.lg.jp  
HP: http://www.pref.kagawa.lg.jp/maibun/

